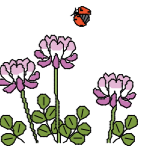


# 上山市令和5年度当初予算 主なもの (円)



- ◎第2子の保育料無償化(2100万)
  - ◎子育て支援相談員の設置(400万)
  - ◎妊娠出産・子育て通院支援事業(100万)
  - ◎教育振興基本計画の策定(100万)
  - ◎学校給食の食材費高騰分に対する支援(300万)
  - ◎中学校施設の整備(3億200万)
  - ◎学校と地域をつなぐコミュニティースクールの実施(800万)
  - ◎18歳までの医療費無償化(1億3200万)
  - ◎中学3年生までのインフルエンザ予防接種助成(700万)
  - ◎かみのやま健康ポイント事業(500万)
  - ◎旧映画館跡地を活用したチャレンジショップ事業(3300万)
  - ◎高機能消防センターの更新(5億8100万)
  - ◎駅東・駅西エリアの整備に向けた詳細設計(8800万)
  - ◎過疎債を活用した社会資本(道路)の整備(3億7500万)
  - ◎河川の浚渫(1700万)
  - ◎ふるさと納税を通じた特産品のPRや交流人口の拡大(7億7900万)
  - ◎文書管理システム及びタブレットの導入によるデジタル化の推進(1300万)
  - ◎元クリーンセンターの解体工事(3億4300万)
- などなど



## 予算特別委員会でも積極的に発言・守岡議員

Q・新型コロナウイルス感染症は今後5類に分類され、インフルエンザと同じような扱いになります。ワクチン接種後の副反応、死亡者、あるいはコロナ感染症による死者数や後遺症を抱えている人の数などは、市で把握することができのでしょうか？

A・管轄する保健所での対応となります。

Q・母子等福祉費で、子どもたちを預かるショートステイ事業を開始するということですが、受け入れ先はどこになるのでしょうか。また、利用料は徴収するのですか？

A・児童養護施設の他、乳児院や母子生活支援施設で受け入れます。所得に応じた利用料を徴収します。

Q・荒町川・八幡堂川合流地点付近の河川拡幅や浚渫工事に向けた進捗状況、今後の見通しは怎么样了か？

A・県事業の円滑な推進に向け、県と休業旅館等との現地立ち会いなどを行ってきました。用地買収の前段階ですが一日も早く地元説明会・地元協議ができるように努力していきたいと思います。

令和4年4月から河川測量詳細設計業務に着手しており、また、関連市道橋架け替えの予備設計、地質調査などが進捗している状況です。

## 学校給食の無償化を一日も早く！

◎市民アンケートでも、子育て・教育面で一番要望が多かったのが学校給食の無償化でした。

◎憲法では義務教育の無償化がうたわれていますが、給食も食育という重要な教育活動の一環です。

◎文部科学省も「義務教育諸学校の設置者の判断により、学校給食を受ける児童又は生徒の保護者の負担を軽減することは可能だ」という見解を示しています。

必要経費は約1億円。過疎債の利用も可。

Q・医療費の窓口負担が大変になる中、国保法44条で定める窓口負担の減免制度を利用している人はどれくらいですか？

A・本市ではまだ利用実績がありません。

Q・本市のがん検診、とりわけ胃がん検診の受診率が低いという特徴を持っています。おそらくバリウム検査以外の選択肢がないということが大きく影響しているのではないかと思われませんが、選択肢の一つに胃内視鏡検査を入れることはできないでしょうか？

A・対応できる関係機関が限られており、市としても課題だとは考えていますが、環境を整えていくことが必要だと考えています。